

スギ・ヒノキ花粉飛散予測のまとめ

1 各調査手法によるスギ・ヒノキ花粉の飛散数予測

表 1 予測数まとめ (個/cm²/シーズン)

観測点 区市名	予測 A (倉本委員) (資料 2 参照)	予測 B (村山委員) (資料 3 参照)
千代田	5,637	6,060
葛飾	5,623	6,090
杉並	6,766	7,550
北	5,634	6,130
大田	5,591	6,160
青梅	13,522	13,140
八王子	8,603	7,920
多摩	7,109	6,440
町田	5,019	4,410
立川	6,627	8,070
府中	4,464	4,670
小平	3,333	3,650

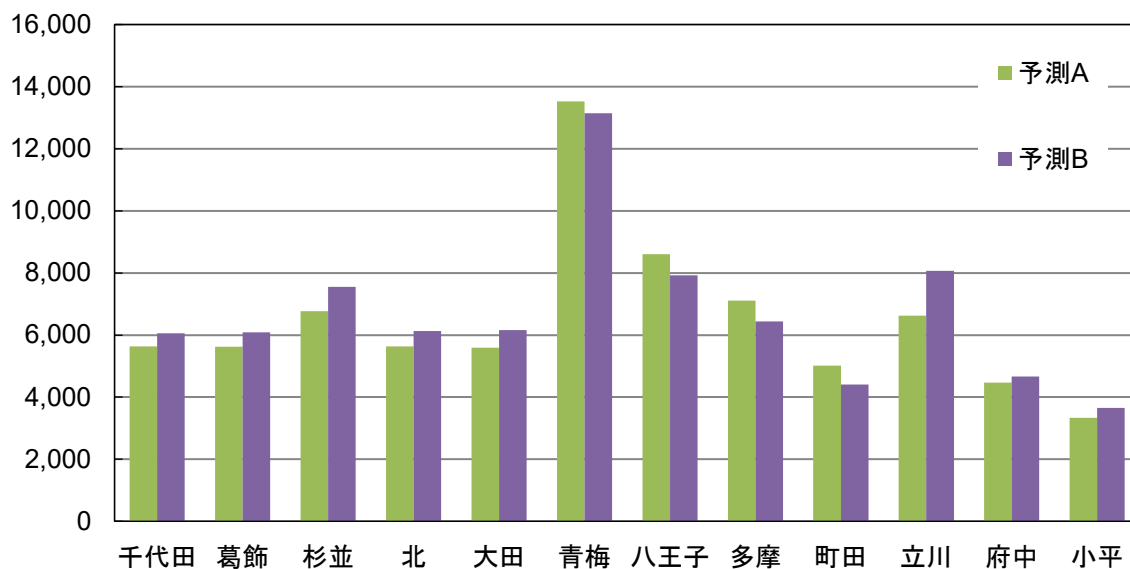
飛散花粉数
(個/cm²/シーズン)

図 1 飛散数予測の比較

2 予測の調整

表2 各予測と予測幅案 (個/cm²/シーズン)

測定点 区市名	予測A (倉本委員)	予測B (村山委員)	予測C (調整後)	下限※	上限※
千代田	5,637	6,060	5,849	4,971	6,726
葛飾	5,623	6,090	5,857	4,978	6,735
杉並	6,766	7,550	7,158	6,084	8,232
北	5,634	6,130	5,882	5,000	6,764
大田	5,591	6,160	5,876	4,994	6,757
青梅	13,522	13,140	13,331	11,331	15,331
八王子	8,603	7,920	8,262	7,022	9,501
多摩	7,109	6,440	6,775	5,758	7,791
町田	5,019	4,410	4,715	4,007	5,422
立川	6,627	8,070	7,349	6,246	8,451
府中	4,464	4,670	4,567	3,882	5,252
小平	3,333	3,650	3,492	2,968	4,015

※ 予測Cの±15% (小数点以下四捨五入)

飛散花粉数
(個/cm²/シーズン)

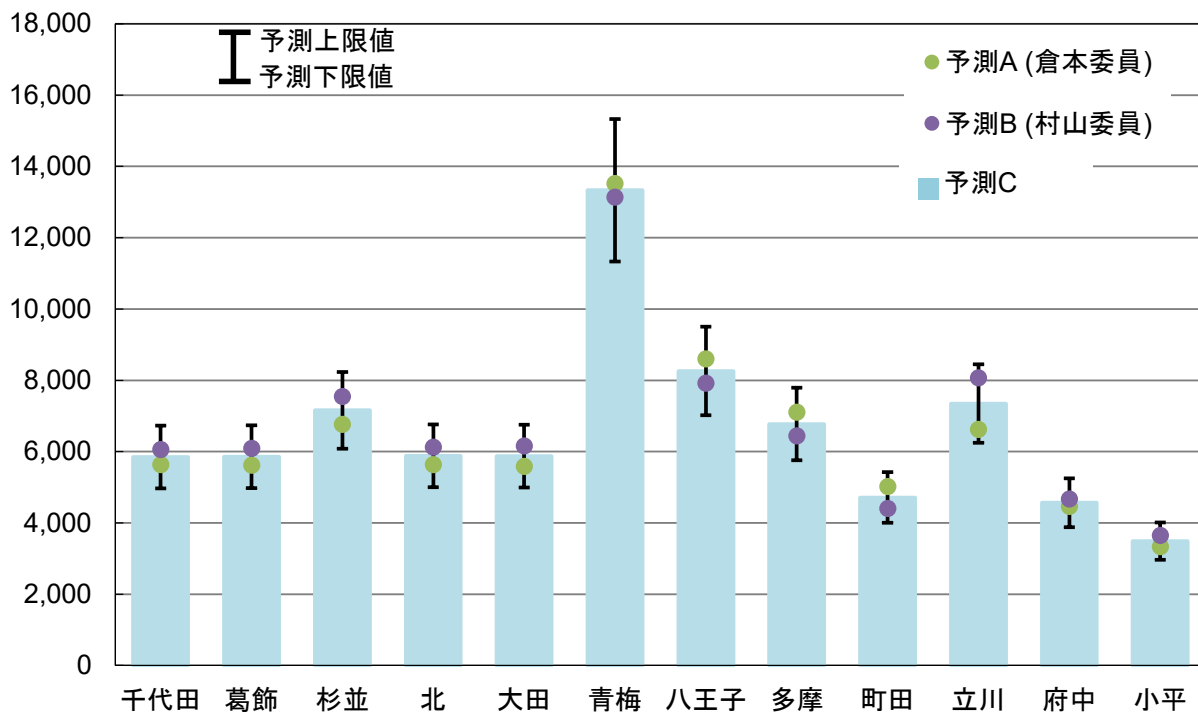


図2 予測幅案と各予測との比較

3 スギ・ヒノキ飛散花粉数予測のまとめ

都内（12 地点）では昨春の 1.2～1.6 倍（予測値の中央値は 1.4 倍程度）、例年（過去 10 年平均）の 1.0～1.3 倍（予測値の中央値は 1.1 倍程度）となる見込みです。

表 3 飛散花粉数

測定点 区市名	2026年 飛散花粉数予測値※ ¹	2025年比 過去 10 年平均比	2025年 飛散花粉数	過去10年の 平均飛散花粉数	過去の 飛散花粉数※ ²	
					最小値	最大値
千代田	4,900 ～ 6,700	1.0～1.3 0.9～1.2	5,051	5,363	277	11,465
葛飾	4,900 ～ 6,700	1.0～1.3 0.9～1.2	5,046	5,392	136	11,959
杉並	6,000 ～ 8,200	1.1～1.5 0.9～1.2	5,406	6,690	118	14,614
北	4,900 ～ 6,700	1.0～1.4 0.9～1.2	4,742	5,432	242	11,707
大田	4,900 ～ 6,700	1.0～1.4 0.9～1.2	4,866	5,453	148	12,481
区部平均	5,200 ～ 7,000	1.0～1.4 0.9～1.2	5,022	5,666	—	—
青梅	11,300 ～ 15,300	1.5～2.0 1.0～1.3	7,790	11,645	125	37,899
八王子	7,000 ～ 9,500	1.4～1.9 1.0～1.4	5,019	6,998	142	24,958
多摩	5,700 ～ 7,700	1.1～1.5 1.0～1.4	5,005	5,703	1,035	21,565
町田	4,000 ～ 5,400	1.3～1.7 1.0～1.4	3,109	3,897	215	18,914
立川	6,200 ～ 8,400	1.0～1.4 1.0～1.4	5,913	5,971	1,292	19,969
府中	3,800 ～ 5,200	1.1～1.5 0.9～1.3	3,465	4,071	772	15,914
小平	2,900 ～ 4,000	1.3～1.7 1.0～1.4	2,312	2,870	291	12,345
多摩部平均	5,800 ～ 7,900	1.2～1.7 1.0～1.3	4,659	5,879	—	—
都内平均	5,600 ～ 7,500	1.2～1.6 1.0～1.3	4,810	5,790	—	—

（2026年飛散花粉数予測値は、算出値の下二桁を切り捨てた値）

※1 花粉数の単位は、花粉飛散シーズン中に花粉捕集器（ダーラム型）のスライドグラス 1 平方センチメートル内に付着した花粉の個数で表します。

※2 過去の飛散花粉数（最大値、最小値）は都の観測開始（1985 年）以降のものです。なお、千代田は 1990 年以降、小平は 1997 年以降、多摩・立川・府中は 2005 年以降のものです。

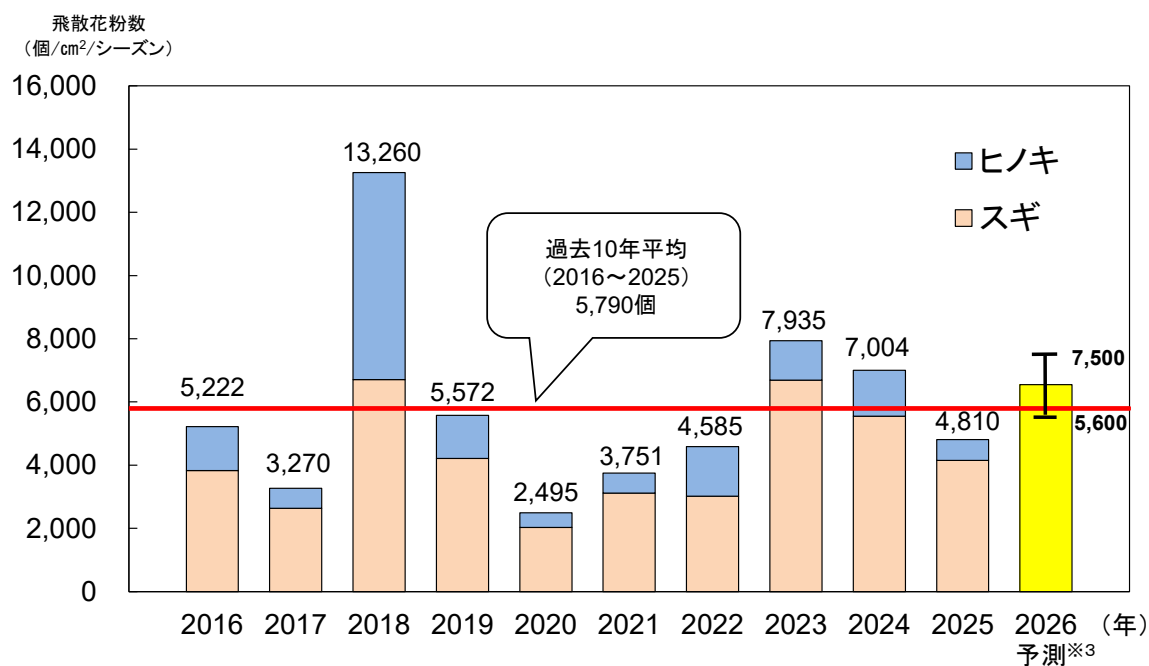


図3 飛散花粉数の経年変化（都内12地点平均）

※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。予測値は、スギとヒノキの合計値です。

4 飛散花粉数の経年変化※4

都内の飛散花粉数の経年変化を見ると、過去10年平均は横ばいですが、年によって飛散量の差が大きい傾向にあります。（図4）

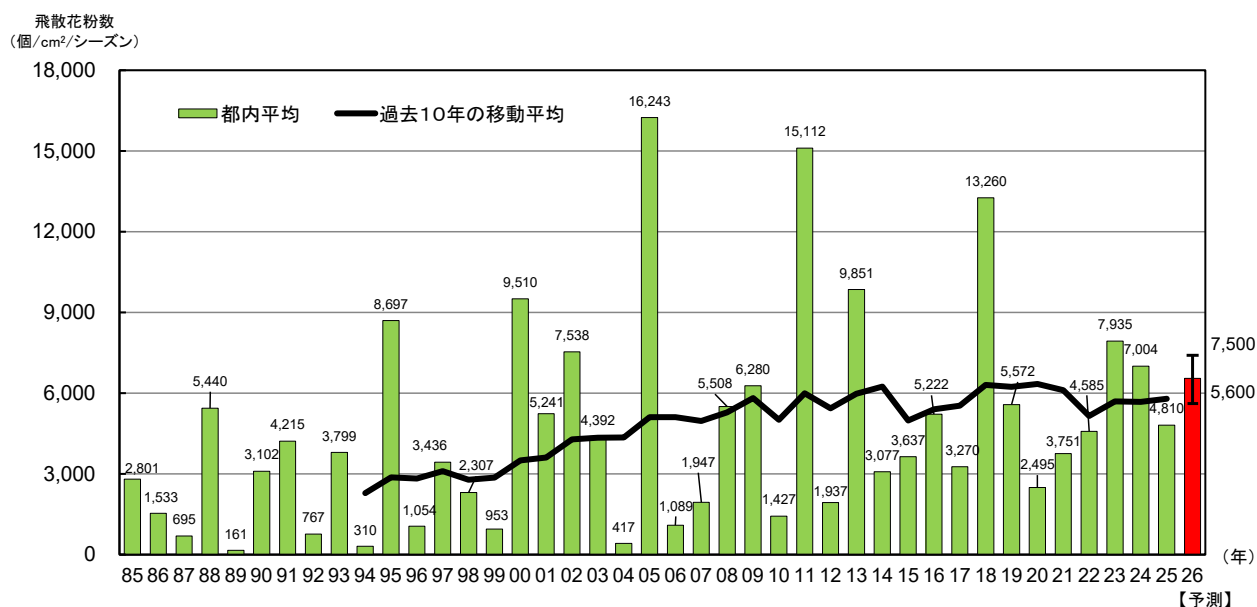


図4 飛散花粉数の経年変化

※4 1990年に千代田で測定開始、1997年に小平で測定開始、2005年に多摩、立川、府中で測定を開始しました。2005年以降は、現在の12地点で測定を行っています。

5 飛散花粉数が多い日※⁵の予測について

村山委員が行った各地点の飛散花粉数が多い日の予測を表4に示します。

飛散花粉数が「多い（30 個以上）」の日数は、区部で 32 日程度、多摩部で 33 日程度となり、昨春と比較して、区部では 1 日程度少なく、多摩部では 8 日程度多くなる見込みです。都内平均では、33 日程度となり、前年の 28 日より 5 日多く、過去 10 年間の平均の 35 日より 2 日少なくなる見込みです。（表 5）

表 4 各測定地点の飛散花粉数が多い日の予測（単位は日数）

観測地点	千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
日数	31	31	36	32	32	51	38	32	27	36	29	21

（データ提供：村山貢司氏）

表 5 飛散花粉数が多い日の予測（単位は日数）

	2026 年予測※ ⁶	2025 年	過去 10 年平均
区部	32	33	37
多摩部	33	25	33
都内平均	33	28	35

※5 飛散花粉数が多い日とは、花粉捕集器（ダーラム型）で測定した数値が 1 日あたり 30 個/cm² 以上の日（表 6）

※6 村山委員が行った予測（表 4）から算出

表 6 花粉数の区分

区分	ダーラム法による測定 (個/cm ² ・日)
少ない	10 個未満
やや多い	10 個以上～30 個未満
多い	30 個以上～50 個未満
非常に多い	50 個以上～100 個未満
極めて多い	100 個以上

6 飛散開始日※⁷の予測について

飛散開始日は2月10日から12日頃と予測され、例年(過去10年平均)よりやや早くなる見込みです。なお、2月初めごろに再度、飛散開始日の予測を行います。(表6)

表7 飛散開始日の予測

測定点 区市名	2026年 飛散開始日予測	2025年 飛散開始日	過去10年の 平均飛散開始日
千代田	2月11日	2月15日	2月15日
葛飾	2月12日	2月16日	2月15日
杉並	2月11日	2月15日	2月15日
北	2月12日	2月24日	2月16日
大田	2月10日	2月15日	2月13日
区部平均	2月11日	2月17日	2月14日
青梅	2月10日	2月13日	2月12日
八王子	2月10日	2月14日	2月14日
多摩	2月11日	2月14日	2月14日
町田	2月12日	2月14日	2月16日
立川	2月11日	2月14日	2月14日
府中	2月11日	2月14日	2月15日
小平	2月12日	2月14日	2月16日
多摩部平均	2月11日	2月13日	2月14日
都内平均	2月11日	2月15日	2月14日

※7 スギ花粉の飛散開始日は1月以降1平方センチメートルの花粉数が1個以上連続した初日とします。

ただし、該当する開始日が過去10年の平均値より1か月前後早い場合であって、その後の花粉飛散状況においてゼロ個が多い状態であれば、不時現象とし、2回目に1個以上の花粉が連続した場合を統計上の飛散開始日とします(日本花粉学会「花粉情報標準化委員会」の合意事項に準拠)。

なお、飛散開始日以前にも少量の花粉が飛散しています。